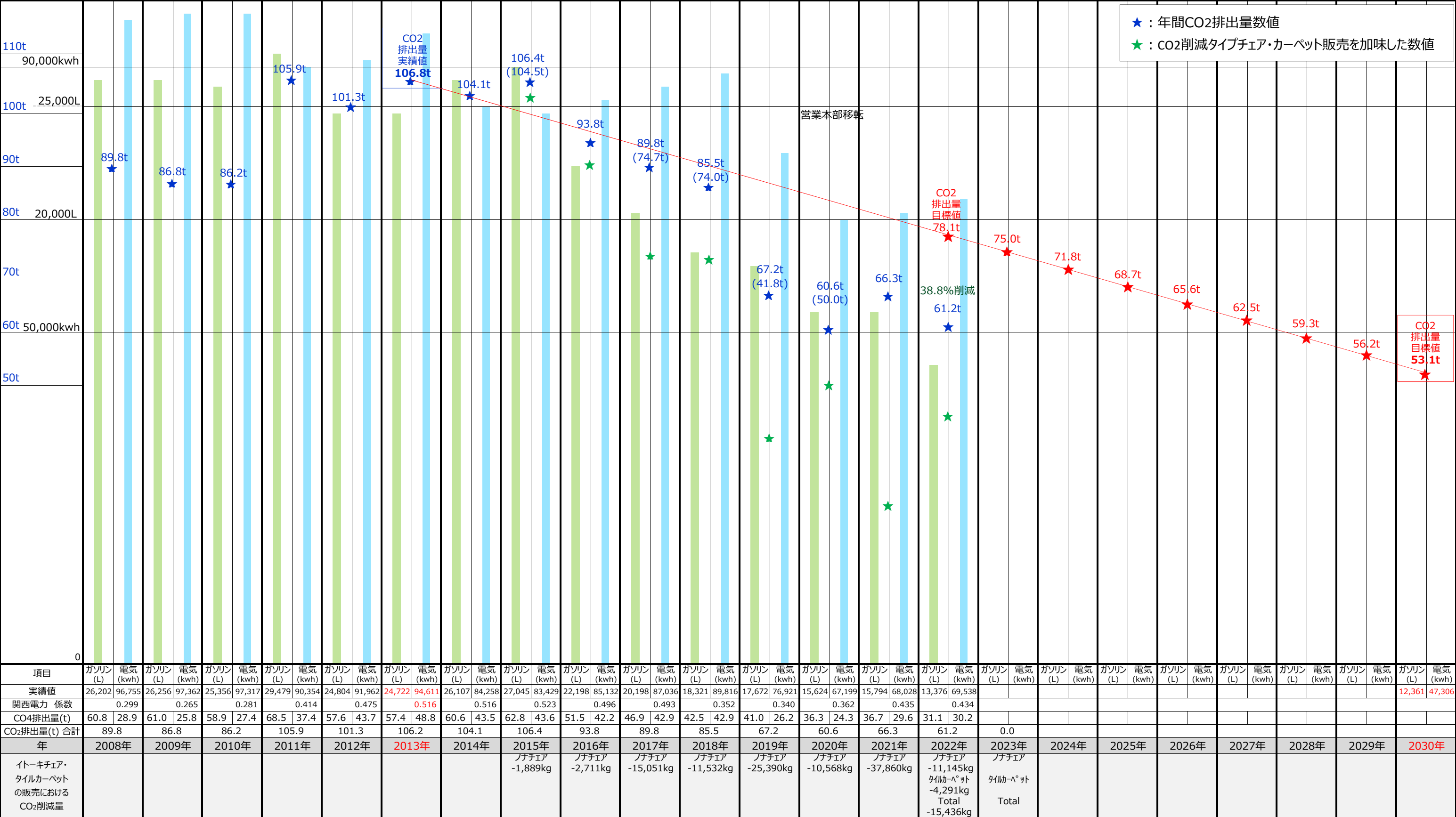


伊藤喜商事 営業車消費ガソリン+オフィス消費電力による温室効果ガス排出量 2030年までに2013年の50%削減 計画及び実績表

2023.10.12



<p>※2015年のパリ協定に基づき、日本政府が公表した温室効果ガス削減目標は、「2030年までに2013年度比46%削減」であったが、2021年4月にさらに「2030年までに2013年度比50%削減」の高みに向けて挑戦すると発表。当社も同様に、スコープ1である営業車のガソリン使用とスコープ2であるオフィスでの消費電力をあわせて、「2030年までに2013年度比50%削減」を目指す事としました。</p>	<p>※消費電力：関西電力各年CO2排出係数にて算出 ※2013年の計算方法 ガソリン：使用量24,722L×2.322kg=57,404,484kg =CO2排出量 57.44 t 消費電力：94,611×0.516kg(2013年関西電力CO2削減係数)=48,819,276kg =CO2排出量 48.8 t CO2排出量：57.44+48.8=106.24t</p>	<p>☆営業活動でのCO2削減貢献量を考慮した数値が()内数値 ※2015~2022年は、ノナチアのみCO2削減 ※2023以降は、ノナ・トルテチアのCO2削減 ※2022年は、川島織物セルコンのCO2削減 ※2023年以降は、カーペット各メーカーのCO2削減</p>
---	--	--